



町指定無形民俗文化財 鹿島神社例大祭

国見町を代表する秋祭り、「鹿島神社例大祭」が3年ぶりに、10月21日から22日にかけて、旧奥州街道藤田宿を中心に行われました。祭の参加者を限定し、開催時間を短縮するなど、新型コロナウイルスの感染対策を講じての実施となりました。

例大祭期間中は、軽快なお囃子の音色とともに神輿と若連の山車が華やかに町内を練り歩き、多くの人を魅了しました。

22日夜には、祭最大の見どころである「もみ合い」が行われました。山車と山車が神輿を挟んでぶつかり合う、激しいもみ合いの様子を間近で見ようと、多くの人が訪れました。

若連衆の勇ましい掛け声と、山車と神輿がぶつかり合う轟音が夜空に響き渡る度に、沿道からは大きな拍手と歓声があがり、盛り上がりは最高潮を迎えます。鹿島神社へ神輿が無事に送り届けられ、宮入りを終えると、町はいつもの静けさを取り戻し、秋の気配が一層深まっています。

①勇ましい掛け声とともにぶつかり合う山車と神輿（錦町）②祭の安全を祈願する③神輿が山車とともに巡行する「渡御」が行われる④街中で繰り広げられたパフォーマンス⑤山車と神輿による「もみ合い」が開始される⑥軽快なお囃子が祭を盛り上げる⑦神霊が神輿に遷りいよいよ祭が始まる⑧国見町役場前で奉納された「剣の舞」⑨迫力あるもみ合いに沿道からは歓声があがる（大町）⑩渾身の力を込めて祭囃子を奏する若連衆⑪閉祭後の三本締め⑫神輿の「宮入り」で祭の盛り上がりは最高潮に⑬もみ合いを間近で見るために詰めかけた大勢の見物客⑭夜になっても参拝客が途絶えない⑮押し負けないように山車を押す若連衆⑯渡御は日が落ちて後も続けられる⑰何度も繰り返される激しいもみ合い（本町）

